

町長と語る

トーク広場

第51回

成人おめでとう！

～晴れて295人が大人の仲間入り～

先月十二日に開かれた平成二十二年の葉山町成人式。多くの祝福の中、二九五人の新成人が大人の仲間入りをしました。晴れやかな表情で「大人としての自覚と責任を胸に、社会に貢献できる人間になります」と、誓いを新たにした新成人の皆さん。実行委員として式の企画・運営に携わり、成人式を盛り上げた九人の新成人に、今の心境や将来の夢などを伺いました。

た両親には本当に感謝しています。

町長 皆さんが企画や運営に知恵を絞った成人式も素晴らしい。和やかな雰囲気でも良かった。和

大山 出席率が八〇・六割と、近年では一番の盛り上がりと聞いています。実行委員の仕事は大変でしたが、努力が報われて、うれしく思います。

花光 式は中学校の同窓会のように、たくさんの方の友達や恩師と再会できました。私はまだ大学生ですが、社会に出て働いている旧友たちが大きく見え、「私も負けてはいられない」と刺激を受けました(笑)。

町長 皆さんは立派に成人されたわけですが、将来の夢は何ですか。

澤野 小さいころは幼稚園の先生になるのが夢でした。でも今は小学校の先生にも魅力を感じます。人生は一本道じゃないし、しっかりと勉強しながら、自分に合った道を探そうと思います。

大山 私は昔から「ナース一筋」。白衣の天使にあこがれ、今は看護学校に通っています。病気で苦しむ人たちに笑顔と元気を——そんなナースになれたらいいな、と考えています。

中村(拓) 僕の夢は、建築の世界で働くことです。建設会社への就職が内定し、四月からは現場へ出ます。父が大工なので、将来は建築士の免許なども取りたいですね。

中村(サ) 私はキャリアウーマンとしてずっと働き続けたい、そんな夢を持っています。具体的な進路は未



定ですが、社会福祉士をめざして大学に入り直し今春卒業する母の頑張りを見習い、しっかりと自分の道を見つけようと思います。

町長 皆さんは生まれも育ちも葉山ですよね。『ふるさと葉山』をどう思いますか。

長塚 私は小学三年生の時からヨットをやっています。葉山はヨット発祥の地で、きれいな海があり、山には緑がいっぱい。御用邸があつて、まちのセンスも都会的。私はそんな葉山が大好きです。

町長 でも、皆さんはいずれ就職などで葉山を離れ、大都会へ羽ばたいて行ってしまふんでしょうね。

佐藤 いえ、そんなことはありません。僕も多分、仕事などで一度は都会へ出て行くと思います。でも、必ず葉

山に帰ってきます。だって、生まれ育った葉山が大好きですから(笑)。

町長 それはうれしい。なるべく早く戻って、葉山をより良いまちにするために力を貸してください(笑)。

ところで、二〇歳になると選挙で投票ができます。今年には衆議院議員選挙の年ですが、政治には関心がありますか。

櫻井 大学で政治学を学んでいるので、大いに関心があります。この間はレポートをまとめるため、町役場へ調査に出向き、いろいろ勉強させてもらいました。衆院選は国の将来を決める大事な選挙ですから、候補者の政見に耳を傾け、自分の頭でしっかりと考えて、大切な一票を投じようと思います。

町長 国政もさることながら、皆さんにとつて最も身近な政治の場は町議会です。葉山では年に四回、定例の議会を開いています。また二四日から始まる二月議会はインターネット中継します。傍聴が無理でも、パソコンで審議の様を見てください。

櫻井 自宅で議会中継が見られるのはいいですね。政治離れがかわれる私たちが若者も、きつと関心を持つんじゃないですか。

町長 最後に成人を祝い、贈る言葉を一つ。ふるさと葉山のために、自分は何ができるのか——。常にそれを考え、自立的な行動のできる大人になつて欲しいと強く願っています。